

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。

お問い合わせは 75-1772.

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

**茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」**  
(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

昆虫もたくさん載っています

ハロー現象で現れる量(ハロ)で、太陽の周りに現れたものは日量(ひがさ、にちうん)と言うようです(悦)

茅野市 市民の森ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。  
《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館 売店  
茅野市北山 カフェ 午後の森  
《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会  
☎: 0266- 75-1772

暑さを避けて (悦)

まだまだ暑い日が続くので、第一駐車場→沢沿いの小径→野鳥の小径少々→日陰の道を選んで頂上へ。そして頂上解散ということにしました。解散後、数名は涼しい木陰で昼食をのんびり食べました。今回のトピックは、キツネノカミソリの花。そして、羽化したアサギマダラのプラスチック容器のような蛹の殻。羽化も劇的ですが、その容器も素晴らしい！また、ミゾソバ、ミズヒキ、キンミズヒキなど、秋の花。ドクダミ、クロモジ、ミズメなどの匂いを確認しながら、歩きました。



秋の気配 (SU)

賑やかなセミの声を聞きながらの観察会でした。木漏れ日の中で群れ咲くキツネノカミソリの花は、オレンジジュース色。さわやかで涼しさを感じました。頂上広場では、見上げると空が高く、アキアカネと思いきトンボが沢山飛び交っていました。秋の気配が漂い始めたのです。トンボと言えば、オニヤンマが人気上昇中との話題が出ました。その姿と飛び方がカッコイイだけでなく、害虫を捕食してくれるから、だそう。えらいぞオニヤンマ、今回もよく見かけました。でもなかなか捕まえられない。

秋の花が先始めました (悦)



花は咲くべき時をどうやって知るのでしょう？植物は葉で昼夜の長さの変化を感じ取っています。昼夜の長さの時間変化で重要になってくるのは、日照時間の長さではなくて夜の時間の長さです。つまり、植物は光が当たらない時間の長さの変化を感じ取ることで花芽を形成するための有効物質をつくっているのだそうです。秋の花は、夜の時間が長くなるのを感じて咲くということになります。

2つのラッキー (中)

アサギマダラの羽化した後の透明な抜け殻を見られて感激でした。どこかでアサギマダラを見たいと思うのですが、自然の事。また会えるのを楽しみにしています。駐車場まで歩いている時に樹々の間に雲の中の虹？が見えました。一緒に帰った方からハロと教えてもらいました。



8月観察した花 (悦)

- ★キツネノカミソリ①101
- ★ミゾソバ①104
- ★ヌスピトハギ①107
- ★クズ②90
- ★コマツナギ②87
- ★ミズヒキ①103
- ★ヤマハギ②95
- ★コウリントンポ①87
- ★ネジバナ①87
- ★オニルリソウ①91
- ★セイヨウツボグサ①90
- ★ツククサ①97
- ★ダイコンソウ①86
- ★キツネノボタン①87
- ★キンミズヒキ①101
- ★オギルソウ①96
- ★クサギ①100
- ★ハルジオン②83
- ★イケマ②93
- ★オトコエシ①102
- ★ゲンショウコ①100
- ★ゲンショウコ①96

8月観察した果実

- ★ツノハシバミ①67
- ★アケビ②72
- ★ナフシロイチゴ①86
- ★オニルリソウ①91
- ★オギルソウ①96
- ★アブラチャン①66
- ★ダンコウバイ①66
- ★クロモジ
- ★ウリハダカエデ①68
- ★ツルウメモドキ①139
- ★カラコギカエデ①132
- ★コクサギ①137
- ★マタタビ②83
- ★ニガイチゴ①72
- ★エビガライチゴ②77
- ★アブラチャン①66
- ★ヤブデマリ①83
- ★ガマズミ①83
- ★ウツギ①88

キンモンガ 🌈Okko 🐜🐛🐞🦋



金紋蛾と書くそうで、たしかに金という紋が！！でもキャンプ好きのわたしには 中心の三角の部分がどうしてもテントにみえちゃう！(笑)美しい黄色、おしゃれなデザイン、、、いろいろな花を訪れ蜜を吸う、幼虫はリョウブの葉をたべるそうです。

大きいハバチの幼虫を発見！ (矢)



調べてみると、キイロモモトハバチの幼虫らしい。寄主植物はハノキで、6～9月に見られる(成虫は4～5月)。そして蛹になり繭内で越冬するとか。果たして、この子が来春無事に成虫になれるのだろうか？思わず「がんばれー！」と心の中でエールを。

8月観察したムシ達 (馬)

- <蝶>
- ミヤマカラスアゲハ②109
- アゲハチョウ♀②109
- モンキチョウ♂♀②110
- スジボソヤマキチョウ♂②110
- オオムラサキ♀②114
- ルリタテハ②112
- イチモンジチョウ②114
- コムシジ②115
- ジャンメチョウ♀②115
- コジャンメ②115
- ヒメジャンメ
- ヒメウラナミジャンメ②115
- ヤマトシジミ②111
- アサギマダラ(蛹の脱殻)②117
- <ガ>
- ヤママコ(繭)②119
- キンモンガ②120
- <トンボ>
- オニヤンマ♂②127
- オオシオカラトンボ♀②128
- アカネの仲間
- <セミ>
- 鳴声:エゾゼミ②129
- ミンミンゼミ
- <甲虫>
- アカハナカミキリ②123
- オオヨツスジハナカミキリ②123
- キマフリ②124
- <その他の昆虫>
- 蟻地獄(ウスバカゲロウ)②134
- <その他の生き物>
- サワガニ
- カナヘビ

幼虫の腹筋？ (矢)



何の幼虫かわかりませんが、見事に尾脚を絡ませボールダンスを行っています。この柔軟性、筋力には只々敬服するのみ！



### 見つけて安堵 (黒)

汗をかきながらでしたが、真夏にしては、わりと風のある、歩くにはちょうど良い感じの一日でした。

●一番に嬉しかったのは、ジイソブ(ツルニンジン)の花のつぼみを見つけられたこと。この数年見ていなかったの消えたのかと心配していたのが、健在でほっとしました。咲いているところを見たいけど、あと何日くらいかな？ そばかすだらけの地味な花だけど深みがある花。



●木の上から滝が流れ落ちるように垂れ下がって咲いていたのはボタンヅル。一つ一つは小さいけれど、華やかにベールのように咲いている様子は見事。

●そして、これも小さなミゾホオズキの花。小さいけれどきちんとした姿勢でご挨拶、という感じ。かわいい。



### 撮れましたア〜 (昭)

前回、初めて見つけた幼虫。透明感があり、意外にも大きかった、ヤママユガ。別の場所では在りますが、綺麗な黄緑色の繭を撮る事が出来、今回一番の成果。



### 感動!! (洋)

●薄緑色のヤママユの繭が目の前に！天蚕(野蚕)である繭を安曇野市穂高有明で明治時代から生産しているそう。天蚕糸の着物をどのような方が身に付けるのでしょうか。

●アサギマダラの透明な脱け殻は神秘的！成虫も幼虫も、すべてが美しすぎる。



### 立秋の8月8日の観察会 (新)

紅白の色を見せてくれるミズヒキ草など美しい可憐な花々を森の大きな木陰から楽しむことができました。

が、立秋は暦の上だけではなく、私の食欲をもそそってきていました。その結果(?)今回の観察会で一番上手に撮影できたのが「ツノハシバミ(角榛)の実」でした。実が熟すまでトゲトゲで身を纏い続けるそうです。



そして、熟した実はとっても美味しいとのこと。次の観察会も楽しみです。ヘーゼルナッツは「西洋ハシバミの実」とありました。榛(ハシバミ)は美味しいんですね。

### 森の中での出会い数々 (山2)

●今回はじめて「ミズヒキ」と「キンミズヒキ」。人が歩くすぐ近くにこんなにも沢山あることにびっくり。



●そして「ダイコンソウ」と「きつねのボタン」なんともかわいい名前。植物の名前には「きつねの…」というのが多いかも。



●今まで緑の葉っぱが茂っていたのに今回はオレンジ色の花がきれいに咲いていました。(キツネノカミソリ)



●ヤママユの繭は天蚕、薄緑の繭できれいな絹糸が採れそうでした。> 観察会終了後にオニヤンマがすぐそばの木にとまっていた。それからナナフシモドキ？



(そして市民の森から帰る途中の北山でアサギマダラに会いました)

背中赤っぽいラインからシラキトビナフシでは？(悦)

### アサギマダラの羽化 (悦)

前回の観察会で観察したアサギマダラの幼虫(前蛹)が、7月22日には蛹になっていました。8月2日、今回の観察会の下見を行った時に、丁度、羽化する炉頃でした！



翅が支障なく広がったのを確認し、まだ翅が乾くまで時間が掛かりそうなので、飛ぶのを待たずにその場を離れました。

### アサギマダラのロマン (森) 写真(悦)

(悦)さんから送って頂いたアサギマダラの羽化の画像をスマホで見ました。蛹が殻から出て蝶になる様子は感動的でした。

今回の観察会では、透明な抜け殻を発見しました。

この殻から、飛び立ったアサギマダラは、何処まで旅を続けるのだろうか？ 海を渡るのかな？

今まで、何気なく見かけたアサギマダラが、観察会で知識を得たお陰で、とても愛おしい蝶になりました。



抜け殻→

### ヘンテコな虫 (桂)



大きさは3mm位、小さいので何だかわからずに写真で撮ったところ、意外に面白いヘンテコな虫でした。アケボノソウの葉の上にはいましたが、これ何でしょう？ 伸びた口先の丸いのが気になります。

3mmくらいの昆虫をあたってみただけ、ないですね。(悦)直感ですが、カメムシにカビが付いたのではないかと。(口)

### ふしぎ発見 (口)

●これ卵だよ、茎の上に黒い塊(2018.08.21にも観察されていますが未だに不明)。



●苔で覆われた切り株にイソギンチャク似の物、指で触るとケムリのような胞子を飛ばしました。



●帰り道、跳ねることなくゆっくりと歩く3cm弱のカエル「見たこともないかも」さてお名前は？



### おつかれさま (口)

●夏も終盤？頂上広場で捕獲されたミヤマカラスアゲハ♂、帰り道山頂コースでイチモンジ♂、夏のお疲れが翅に、でも元氣よく舞っていました。



●朽ち果てたベンチにキノコ。